

# 統 計

## わが国の出生力に関する主要指標：昭和62年

わが国の出生力に関する指標、すなわち女子の年齢別出生率および合計特殊出生率の算定は、人口再生産指標<sup>1)</sup>（標準化人口動態率、女子の人口再生産率、女子の安定人口諸指標）の一貫として行ってきたおり、また地域別出生力指標<sup>2)</sup>についても毎年発表してきている。今回より、最新年次分の女子の年齢別出生率および出生順位別出生率について算定し、その結果を紹介する。また、昭和30年以降についても合わせて掲載し<sup>3)</sup>最近の出生力の変動の概観について若干の分析を行ったものである。

本統計資料の作成は、人口情報部人口解析センターの石川晃および坂東里江子両技官が担当した。

### 結果の説明

昭和62年の合計特殊出生率は、1.69となり前年（61年）の1.72に比べ0.03ポイントの低下となった。これは、昭和41年のヒノエウマ（1.58）に次ぐ低率である。昭和49年以降急減していた合計特殊出生率も56年に1.74まで低下し、その後59年には1.81まで回復した。しかしまた低下に転じ60年以降現在までその傾向が続いてきている。

出生順位別に合計特殊出生率の内訳をみると、第1子0.72、第2子0.66、第3子0.26、第4子0.04、第5子以上0.01となり、全体（合計特殊出生率）に占める割合は第1子43%、第2子39%、第3子16%、第4子以上3%となった。第1子と第2子との合計では8割を超え、第3子まで含めると97%になる。

昭和30年以降の推移をみると昭和30年頃には出生順位間の出生率の差は、ほぼ0.1程度と同率の開きがあったが、30年代に第1子と第2子の出生率は上昇し、逆に第3子以上は低下した。その結果第2子と第3子との出生率の差が拡大する結果となった。40年代以降は、第1子と第2子はほぼ同様の傾向で推移し、40年代半ばから低下しだした。第3子については40年代後期まで緩やかに上昇していたが、49年50年と急減しその後徐々に回復してきている。第4子以上については、昭和30年以降一貫して低下している。

母の年齢別出生率を昭和40年以降比較すると、年齢パターンに大きな変化がみられる。昭和40年と

1) 昭和61年分については、「全国人口の再生産に関する主要指標：昭和61年」、『人口問題研究』、第185号（1988.1）に掲載。

2) 昭和61年分については、「都道府県別、女子の年齢（5歳階級）別特殊出生率および合計特殊出生率：昭和61年」、『人口問題研究』、第186号（1988.4）に掲載。

3) 母の年齢（各歳）別、出生順位別出生数は、厚生省大臣官房統計情報部（統計調査部）「人口動態統計」によって得られるが、昭和40年および43年以降について表章されるようになった。昭和25年以降39年までについては、母の年齢が5歳階級別にしか得られず、また41年および42年については嫡出児によるものしかないため、別途推計を行った。

推計方法は、昭和39年以前については、母の年齢各歳別出生数および各出生順位別5歳階級出生数を基に、5歳階級別出生数を各歳に配分し、総数が一致するまでイタレーションを行った。昭和41年および42年については嫡出児と総出生児との比を用い推計した。

詳細については以下の論文を参照。

昭和40年以降62年までについては、石川晃、「わが国の出生順位別出生率の動向」、『人口問題研究』、第164号（1982.10）に掲載。

出生順位別出生率をコウホートの的に観察したものとして、石川晃、「わが国女子の追加出生確率について」、『人口問題研究』、第167号（1983.7）がある。

表1 母の年齢別出生順位別出生率：昭和62年

年 齢	総 数	第 1 子	第 2 子	第 3 子	第 4 子	第 5 子～
15	0.00011	0.00011	0.00000	—	—	—
16	0.00063	0.00062	0.00001	—	—	—
17	0.00213	0.00204	0.00009	0.00000	—	—
18	0.00514	0.00475	0.00038	0.00001	0.00000	—
19	0.01135	0.01013	0.00117	0.00005	—	—
20	0.01791	0.01506	0.00271	0.00013	0.00001	0.00000
21	0.03518	0.02759	0.00706	0.00048	0.00004	0.00000
22	0.04695	0.03471	0.01121	0.00097	0.00006	0.00001
23	0.07257	0.05159	0.01887	0.00196	0.00013	0.00001
24	0.10722	0.07310	0.03006	0.00377	0.00027	0.00002
25	0.13995	0.08863	0.04444	0.00642	0.00043	0.00004
26	0.16805	0.09413	0.06269	0.01033	0.00081	0.00009
27	0.17959	0.08437	0.07752	0.01637	0.00118	0.00015
28	0.17943	0.06763	0.08670	0.02297	0.00187	0.00025
29	0.16185	0.04941	0.08089	0.02881	0.00241	0.00032
30	0.14276	0.03531	0.06977	0.03397	0.00324	0.00046
31	0.11406	0.02413	0.05240	0.03324	0.00374	0.00054
32	0.08736	0.01658	0.03710	0.02902	0.00400	0.00066
33	0.06716	0.01190	0.02641	0.02398	0.00409	0.00078
34	0.04839	0.00874	0.01765	0.01756	0.00358	0.00086
35	0.03439	0.00639	0.01234	0.01197	0.00286	0.00082
36	0.02463	0.00478	0.00856	0.00815	0.00235	0.00079
37	0.01642	0.00341	0.00558	0.00507	0.00170	0.00066
38	0.01077	0.00239	0.00362	0.00302	0.00114	0.00061
39	0.00714	0.00166	0.00229	0.00193	0.00078	0.00048
40	0.00395	0.00091	0.00124	0.00097	0.00049	0.00034
41	0.00263	0.00066	0.00080	0.00057	0.00032	0.00028
42	0.00151	0.00034	0.00039	0.00035	0.00022	0.00021
43	0.00081	0.00018	0.00020	0.00018	0.00010	0.00015
44	0.00042	0.00009	0.00009	0.00009	0.00006	0.00009
45	0.00015	0.00004	0.00003	0.00003	0.00002	0.00003
46	0.00007	0.00001	0.00001	0.00002	0.00000	0.00002
47	0.00002	0.00000	0.00000	0.00001	0.00000	0.00001
48	0.00001	0.00000	—	0.00000	—	0.00000
49	0.00000	—	—	0.00000	—	0.00000
合 計	1.69071	0.72139	0.66231	0.26240	0.03593	0.00869
平均年齢	28.55	26.80	29.05	31.25	33.00	35.24
15—19	0.00375	0.00342	0.00032	0.00001	0.00000	—
20—24	0.05525	0.03992	0.01378	0.00144	0.00010	0.00001
25—29	0.16582	0.07676	0.07053	0.01702	0.00134	0.00017
30—34	0.09013	0.01883	0.03966	0.02723	0.00374	0.00067
35—39	0.01777	0.00357	0.00615	0.00569	0.00170	0.00066
40—44	0.00193	0.00045	0.00057	0.00045	0.00025	0.00022
45—49	0.00005	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001

率算出の分母人口は、総務庁統計局『国勢調査報告』および『各年10月1日現在推計人口』による日本人女子人口を用いた。母の年齢別、出生順位別出生数は、厚生省大臣官房統計情報部『人口動態統計』によるもので、母の年齢が15歳未満の出生数については15歳に、50歳以上のそれは49歳にそれぞれ含め、年齢不詳の出生数は既知の年齢別数値の割合に応じて案分補正を行った。

平均出生年齢については、年齢各歳別出生率を用いその年齢に0.5を加えた数値を用いて計算した。

$$\text{平均出生年齢} = \frac{\sum fx \times (x+0.5)}{\sum fx}$$

なお、表中“—”は出生数が0を示す。

表2 出生順位別、合計特殊出生率の推移：昭和30年～62年

年次	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子～
昭和30	2.36938	0.72067	0.60197	0.46289	0.28822	0.29596
31	2.22276	0.73914	0.59427	0.39885	0.24442	0.24630
32	2.04286	0.72244	0.58802	0.34732	0.19220	0.19309
33	2.11018	0.81032	0.63162	0.33921	0.16436	0.16487
34	2.03870	0.83773	0.63022	0.30715	0.13288	0.13089
35	2.00384	0.86696	0.64850	0.28385	0.10656	0.09816
36	1.96075	0.86999	0.66616	0.26159	0.08804	0.07507
37	1.97563	0.91496	0.68577	0.24588	0.07257	0.05657
38	2.00470	0.93361	0.71855	0.24183	0.06486	0.04592
39	2.04931	0.95906	0.75441	0.24063	0.05829	0.03702
40	2.13926	0.99341	0.81339	0.24637	0.05499	0.03109
41	1.57756	0.79961	0.53978	0.17189	0.04136	0.02481
42	2.22535	0.99819	0.89861	0.25600	0.04889	0.02360
43	2.13331	0.96665	0.84354	0.25518	0.04687	0.02108
44	2.13114	0.94522	0.84450	0.27384	0.04788	0.01969
45	2.13494	0.94277	0.84373	0.28243	0.04727	0.01874
46	2.15783	0.93034	0.86430	0.29700	0.04839	0.01780
47	2.12774	0.92670	0.83641	0.29877	0.04830	0.01756
48	2.14066	0.92579	0.83287	0.31205	0.05121	0.01874
49	2.04885	0.90598	0.79562	0.28494	0.04579	0.01652
50	1.90941	0.86223	0.75955	0.23616	0.03696	0.01452
51	1.85207	0.82915	0.74830	0.22683	0.03447	0.01331
52	1.80061	0.79472	0.73611	0.22470	0.03268	0.01240
53	1.79172	0.78522	0.73461	0.22897	0.03158	0.01136
54	1.76935	0.78121	0.71511	0.23194	0.03074	0.01036
55	1.74652	0.78532	0.69183	0.22946	0.03028	0.00963
56	1.74146	0.79166	0.67974	0.23003	0.03072	0.00931
57	1.76983	0.79759	0.69098	0.23940	0.03238	0.00947
58	1.80057	0.80890	0.69832	0.24998	0.03405	0.00933
59	1.81085	0.79785	0.70633	0.26093	0.03613	0.00962
60	1.76397	0.76114	0.69502	0.26278	0.03579	0.00924
61	1.72324	0.74210	0.67484	0.26101	0.03627	0.00902
62	1.69071	0.72139	0.66231	0.26240	0.03593	0.00869

図1 出生順位別、合計特殊出生率：昭和30～62年

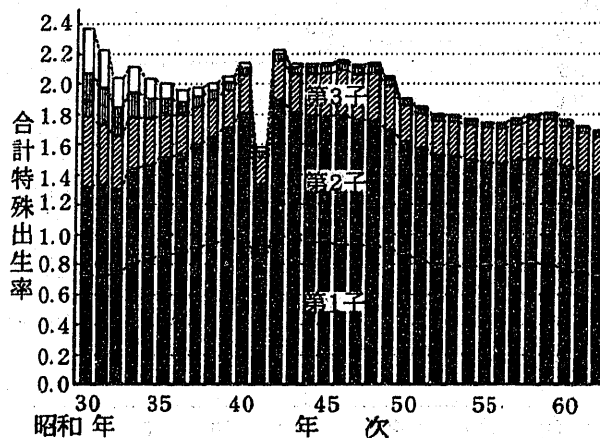


表3 出生順位別, 平均出生年齢の推移: 昭和30年~62年

年次	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子~
昭和30	28.85	25.11	27.56	29.94	31.97	35.83
31	28.64	25.21	27.64	30.01	32.08	35.76
32	28.44	25.36	27.72	30.03	32.14	35.68
33	28.23	25.44	27.82	30.08	32.23	35.71
34	28.07	25.53	27.94	30.12	32.30	35.82
35	27.87	25.61	27.99	30.13	32.24	35.85
36	27.79	25.73	28.07	30.14	32.23	35.91
37	27.70	25.80	28.18	30.19	32.22	35.99
38	27.71	25.88	28.30	30.24	22.25	35.94
39	27.70	25.91	28.39	30.33	32.29	36.00
40	27.70	25.89	28.45	30.42	32.34	35.94
41	27.65	25.92	28.54	30.57	32.47	36.01
42	27.75	25.89	28.54	30.59	32.43	35.85
43	27.77	25.88	28.57	30.71	32.54	35.77
44	27.78	25.86	28.51	30.73	32.52	35.66
45	27.75	25.82	28.46	30.76	32.55	35.50
46	27.74	25.77	28.41	30.72	32.54	35.35
47	27.67	25.68	28.36	30.67	32.50	35.37
48	27.64	25.63	28.29	30.63	32.45	35.15
49	27.54	25.61	28.20	30.59	32.48	35.28
50	27.46	25.66	28.15	30.51	32.45	35.25
51	27.47	25.74	28.14	30.43	32.34	35.27
52	27.56	25.87	28.19	30.39	32.32	35.27
53	27.63	25.95	28.26	30.38	32.35	35.17
54	27.70	26.02	28.35	30.40	32.28	35.31
55	27.75	26.07	28.43	30.50	32.33	35.19
56	27.84	26.17	28.53	30.61	32.38	35.14
57	27.93	26.25	28.60	30.72	32.48	35.16
58	28.03	26.32	28.69	30.86	32.59	35.10
59	28.15	26.40	28.76	30.95	32.72	35.06
60	28.28	26.52	28.84	31.03	32.83	35.08
61	28.40	26.66	28.94	31.13	32.95	35.05
62	28.55	26.80	29.05	31.25	33.00	35.24

図2 出生順位別, 平均出生年齢: 昭和30~62年

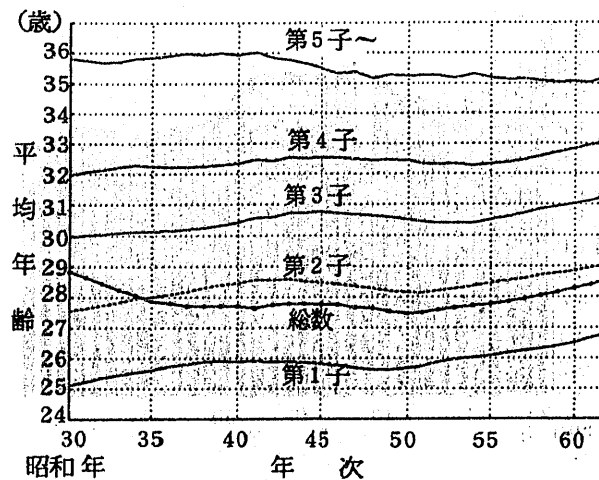
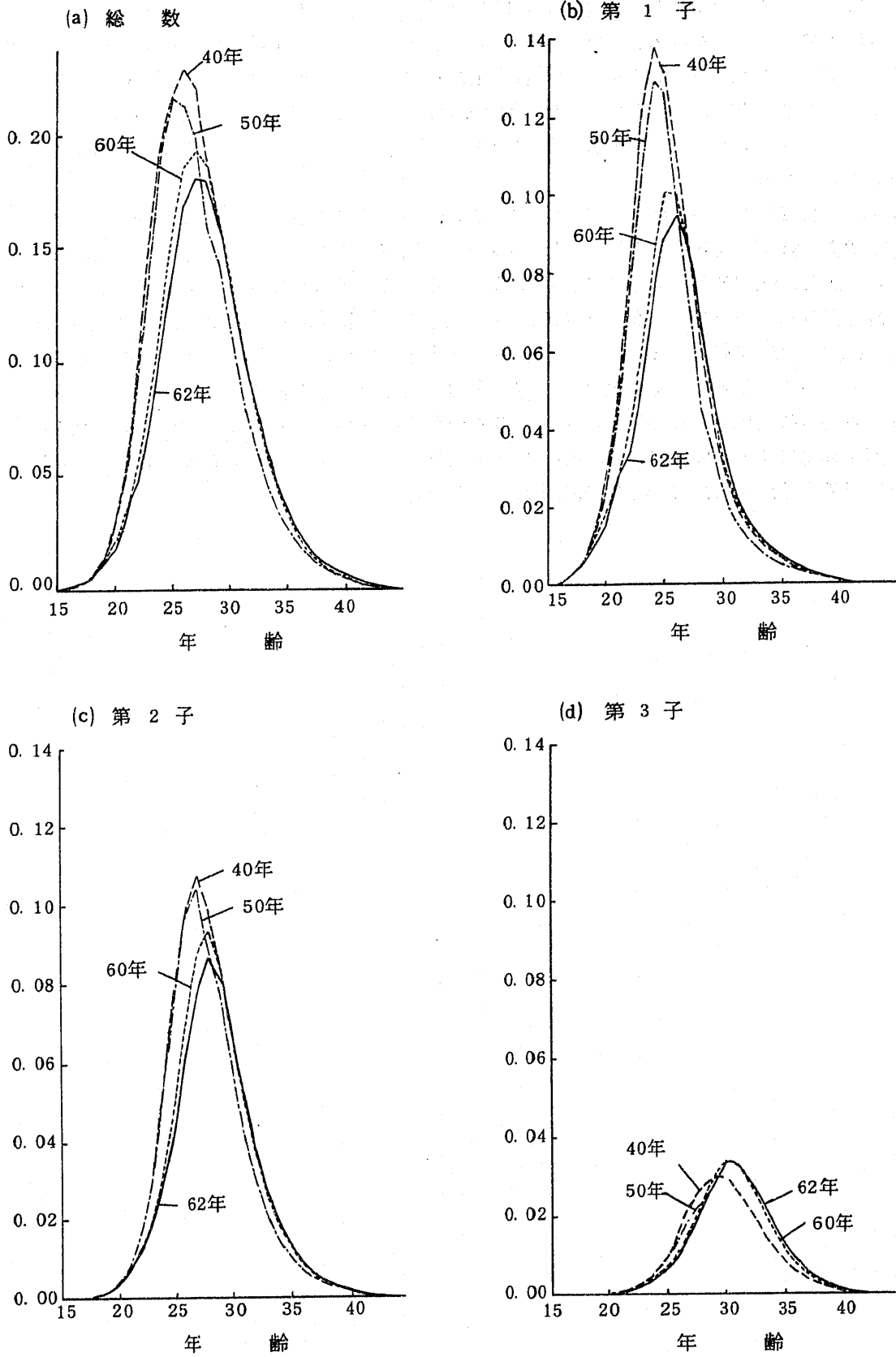


図3 出生順位別，母の年齢別出生率の比較：昭和40年・50年・60年・62年



50年とを比べると、高年齢（ピーク年齢以上）で低下し、それ以下の年齢ではそれほど変化がみられない。同様に50年と60年のパターンをみると若年齢で大幅に減少し、高年齢では増加している。60年と62年ではさらに若年齢からピーク年齢にかけて低下し、それ以上の年齢ではほぼ安定している。出生順位別に年齢パターンをみると、第1子では40年と50年とでは全年齢で低下がみられたが、60年には25歳以下でさらに低下をしたものの、それ以上の年齢では、40年と同レベルまで回復した。60年から62年にかけては、若年齢で低率となった。第2子は、ほぼ全出生の場合と同様の傾向を示している。第3子については、40年および50年が同様のパターンを示していたが、60年には若年齢で低下し高年齢で上昇がみられる。

つぎに、昭和62年の平均出生年齢は、総数で28.5歳、第1子26.8歳、第2子29.0歳、第3子31.2歳、第4子33.0歳、第5子以上35.2歳となった。昭和30年以降の推移をみると、総数では、昭和30年時28.8歳であったが30年代に低年齢化が進み、40年代になるとほぼ28歳弱のレベルで安定していた。50年以降高年齢化が進行してきており50年から62年の間で1.1歳の上昇がみられた。これを、出生順位別にみると、総数では低年齢化していた30年代には、各出生順位別とも高年齢化がみられ、総数とは逆の傾向を示している。これは、昭和30年代に第3子以上での出生率が低下したための結果である。40年代では、各出生順位別ともやや安定か若干の低年齢化の傾向がみられたが、50年以降で高年齢化に転じた。高年齢化に転じた時期は、出生順位によって異なり、第1子で50年以降、第2子52年以降、第3子54年以降とそれぞれ約2年の時期のずれがみられる。